

エジプト財務省プレスリリース（記者発表）

エジプトは2009/10年度の財政目標を超過達成

エジプト経済は、2007/08年に発生した食品やその他基礎的商品の国際市況の急騰と、2008年の世界的な景気後退に伴って発生した前例のない国際市場の暴落という二重の国際危機を無事に乗り越えた。

2009/10年度の暫定財政報告によれば、エジプト政府は現時点において財政赤字をGDP比8.3%以下に抑え、目標のGDP比8.4%を優に達成した。一方、2回の国際危機に直面して公的支出がGDP比3%程度まで引き上げられたにもかかわらず、予算組織の債務総額のGDP比はこの3年間に大きな変動もなく80-82%の範囲にとどまり、現在の構造改革が始まる前の2004/05年度の121%から低下している。多くの国で状況が悪化しているのとは違って、エジプトの債務総額のGDP比は2009/10年度に80.5%へと0.6%ポイント低下した。

景気は予想以上に急速に回復している。ユーセフ・ブトロス・ガリ財務相は、「まずまずの成長率を確保でき、近代史上最悪とも言える国際金融危機と経済危機の中で財政赤字目標と債務目標を超過達成できた」と述べた。

暫定財政報告は、所得税、売上税、関税すべてが予算を上回り、09/10年度の当初予算で見込まれていた約LE 140億の一時収入・交付金の欠損を補っていると示している。非政府事業体（すなわち石油公社、スエズ運河、エジプト中央銀行を除く）からの暫定税収額はLE 1,170億で、予算を約11%上回った。商品・サービスに対する売上税の税収額は堅調な内需を背景に2008/09年度を約8%上回り、約LE 670億に達した。関税収入はLE 154億を記録し、修正後の予算をLE 10億近く上回り、さらに前年実績も約9%上回った。財務省は、給与、商品・サービス支出、社会保障でLE 50億程度、GDP比約0.4%の節減を見通している。その金額は、予想を上回る国債の利払い資金として配分が求められているLE 20億の追加予算を補填して余りある。

財務相は以前に、世界経済による悪影響を勘案して積極的な財政合理化計画を一時的に留保すると発表していた。ブトロス・ガリ財務相は、「しかし、それでも構造改革が止まることはなかった」とし、さらに「公的財政、法律、組織の体制の全面的な近代化はほぼ完了している。過去18-20ヵ月間には、近代化された不動産税法、PPP（官民パートナーシップ）法、先進的な年金制度が導入されており、最近のタバコ、鉄鋼、セメントの税制改革を含めいくつかの歳入増大策も導入した」と指摘した。

エジプトは、政府債務比率をGDP比60%以下に引き下げ、同時に2014/15年度までに財政赤字をGDP比3-3.5%程度へ引き下げると公約している。ブトロス・ガリ財務相は次のように説明した。

「2010/11年度から合理化計画を再開する。長期的に財政の持続可能性を確保する重要な改革はすでに導入済みである。補助金、売上税の近代化、本質的な変更を伴わない所得税法の条項修正、財務機能の近代化の完了、そして公営企業間の長期的な財務関係の解消に関する追加的な改革が残されている。これらはいずれも歳入構造の回復力と公的資金運用の効率性を改善することになる。」

財務省が2010/11年度について新たに財政赤字目標をGDP比7.9%とし、年度末までの予算事業体の債務のGDP比を80%以下と予想していることは注目に値する。

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にエジプト市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。